

SGU 四国ゴルフ連盟会報

No.40

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

年頭のごあいさつ

四国ゴルフ連盟 理事長 大亀 孝裕

輝かしい新春を迎えるに当たり、加盟倶楽部並びに関係者の皆様に、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、国の内外ともに多事多難の年でありました。特に、吹きやまぬ世界的不況の風は、我が国の深刻な経済不況を招き、その影響は誠に厳しいものでありました。その中であって、四国ゴルフ連盟では、意義ある創立30周年記念行事を成功裡のうちに終了することができました。昨年を思い起こしますと、猛暑の中、四国初開催の「日本アマチュアゴルフ選手権競技」、新しい時代の要請である「スロープコースレーティング講習会」、そして10月には、華美・豪華に惑うことなく、質実・手作りの「四国ゴルフ連盟創立30周年記念行事」を実施いたしました。記念行事では、雨天の中多数ご参加いただいたゴルフ大会そして式典、レセプションと思い出に残る楽しい1日となり、ここに関係各位のご協力に対し改めてお礼申し上げます。

一方、四国を代表する各選手の活躍も目覚ましく、松山英樹選手(東北福祉大)の第2回アジアアマ選手権優勝、第75回日本オープン3位(ローアマ)をはじめ、三木逸子選手(土佐CC)の第18回日本女子シニア3連覇やジュニア選手の健闘は、四国ゴルフ界関係者に明るく勇気を与えてくれる1年でした。

昨年“みそじ”を迎えた当連盟も、いわば“ミッド”の仲間入り。これを機に、進境著しいジュニアプレーヤーの更なる育成・支援、女子プレーヤーが気軽に参加でき、親交を温める競技の立ち上げなどについて、競技委員会で検討・協議が進められておりまして、この新年度中に、従来の主催競技に加え「四国ミッドアマ選手権」、「四国女子インタークラブゴルフ競技(仮称)」をスタートさせたいと考えています。各加盟倶楽部、各県協会(連盟)のご理解、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、四国ゴルフ界が夢と希望の持てる未来に向かって今後一層活性化し、“うさぎ年”にふさわしく機敏・活発・飛躍の年となるよう期待するとともに、加盟倶楽部のますますのご発展、皆様方のご健勝・ご活躍を心から祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。



2011年度四国ゴルフ連盟

主催競技日程案まとまる =競技委員会=

2011(平成23)年度SGU主催競技の日程案が、去る8月11日及び11月29日に開催の競技委員会(大塚澄男委員長)でまとまった。この案は、次期理事会、総会で最終承認される予定。

四国ゴルフ連盟 2011(平成23)年度 主催競技日程案

開催日			競技の名称	開催場所	
月	日	曜			
5	18~19	水~木	第31回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技	鳴門カントリークラブ	徳島県
6	1~4	水~土	第31回四国アマチュア選手権競技	グリーンフィールドゴルフ倶楽部	高知県
7	21~22	木~金	第31回四国ジュニアゴルフ選手権競技	北条カントリー倶楽部	愛媛県
8	4	木	第31回四国クラブ対抗決勝競技	Kochi黒潮カントリークラブ	高知県
9	14~15	水~木	第18回四国ミッドシニアゴルフ選手権競技	高松カントリー倶楽部	香川県
9	14~15	水~木	第18回四国グランドシニアゴルフ選手権競技	高松カントリー倶楽部	香川県
9	27~28	火~水	第31回四国シニアゴルフ選手権競技	新居浜カントリー倶楽部	愛媛県
10	12	水	第2回四国アンダーハンディキャップゴルフ競技	鮎滝カントリークラブ	香川県
10	21~22	金~土	第1回四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技	今治カントリー倶楽部	愛媛県
	(未定)		第1回四国女子インタークラブゴルフ競技(仮称)	(未定)	香川県

(関連分)

7	25~26	月~火	国民体育大会ゴルフ競技少年男子四国ブロック大会	松山国際ゴルフ倶楽部	愛媛県
	(未定)		第6回四国小学生ゴルフ大会	(未定)	



第30回四国シニアゴルフ選手権競技 高松グランドカントリークラブで開催(9/28・29) 羽藤選手(タカガワ新伊予GC)が初優勝

第30回四国シニアゴルフ選手権競技が9月28・29日の2日間、高松グランドカントリークラブ(香川県)で開催され、126名が参加、羽藤悟志選手(タカガワ新伊予GC=写真)が2日間のトータルスコア1オーバーの145で、2位タイの青木邦夫選手(屋島CC)、上田 弘選手(グリーンフィールドGC)に1打差をつけ、見事初優勝を飾った。

この3選手と4位崎山俊紀選手(今治CC)、5位T(マッチングスコアカード方式)唐津正二選手(高松CC)は第32回日本シニアゴルフ選手権競技(11/10~12三重県桑名カントリー倶楽部で開催)への出場権を得た。なお、上位Tまでの選手は、次のとおり。(パー72・6,781ヤード)

四国シニアゴルフ選手権競技成績

順位	氏名	+/-	所属倶楽部	TOT	(1.2R)
優勝	羽藤 悟志	+1	新伊予G	145	(72 73)
2	青木 邦夫	+2	屋 島C	146	(72 74)
2	上田 弘	+2	グリーンフィールドG	146	(74 72)
4	崎山 俊紀	+3	今 治C	147	(75 72)
5	唐津 正二	+4	高 松C	148	(69 79)
5	井上 幸伸	+4	土佐ユートピアC	148	(73 75)
7	中西 秀樹	+5	阿 南C	149	(76 73)
7	戎 賢也	+5	サンセットヒルズC	149	(74 75)
9	後藤 高成	+6	屋 島C	150	(74 76)
10	井上健太郎	+7	道 後G	151	(74 77)
10	木村 清吉	+7	高 松C	151	(75 76)

第17回四国ミッドシニア・グランドシニアゴルフ選手権競技 錦山カントリークラブで開催(9/16・17)

ミッド真井選手(御所CC)、 グランド青野選手(滝の宮CC)が初V

第17回四国ミッドシニア・グランドシニアゴルフ選手権が9月16・17日の2日間、錦山カントリークラブ(高知県)で開催され、ミッド92名、グランド58名が熱戦を展開、ミッドは真井純一選手(御所CC)が、グランドは、青野 章選手(滝の宮CC)がプレーオフ決戦の結果、初優勝。ミッドは、5位までの選手が11月8・9日、東名古屋CCで開催の第17回日本ミッドシニア選手権の、グランドは4位までの選手が同2日間、岐阜CCで開催の第17回日本グランドシニア選手権の出場権を獲得。なお、上位入賞者は次のとおり。



真井純一 選手 青野 章 選手

ミッドシニア選手権競技 (6,311yd Par72)

順位	氏名	所属倶楽部	TOT
優勝	真井 純一	御 所C	144
2	水田 芳明	スカイ・ベイG	150
3	四宮 陽一	高松グランドC	151
3	岡本 忠応	鳴 門C	151
5	岩崎 一雄	高松ゴールドC	152
6	秋山 徳孝	新居浜C	153
7	嵯峨 昭三	JクラシックG	154
8	戸田 浩史	滝の宮C	155
8	渡邊 省二	松山シーサイドC	155
10	猪野進一郎	土 佐C	156
10	濱村 澄夫	松山ロイヤルG	156
10	西 征義	黒 潮C	156
10	福本 茂行	徳 島C	156

グランドシニア選手権競技 (5,927yd Par72)

順位	氏名	所属倶楽部	TOT
優勝	青野 章	滝の宮C	149
2	伊東 隆弘	新居浜C	149
3	大田 勇	新伊予G	150
3	岡林大一郎	錦 山C	150
5	白鳥 英二	JクラシックG	151
6	十川 武志	アルファ津田C	152
7	鴨井 康彦	エリエールG	153
8	宮本 忠明	詫 間C	155
8	田中長次郎	S G U	155
10	内田 勝久	ロイヤル高松C	158

四国地区(出身)選手の活躍(22.10.1~)

- 松山英樹選手(東北福祉大①)、第2回アジアアマチュアゴルフ選手権(10/7~10霞が関カントリー倶楽部)で見事優勝、続いて第75回日本オープンゴルフ選手権(10/14~17愛知カントリー倶楽部)で堂々の3位(ローアマ)。
- 崎山俊紀選手(今治CC)、第20回日本シニアオープンゴルフ選手権(10/28~31鳴尾ゴルフ倶楽部)で見事ローアマ(2年連続4度目)、続いて第32回日本シニアゴルフ選手権(11/10~12桑名カントリー倶楽部)で5位と健闘。
- 青野 章選手(滝の宮CC)、第17回日本グランドシニアゴルフ選手権(11/8~9岐阜カントリー倶楽部)で優勝争いの末惜しくも4位。
- 村上 敦選手(サンセットヒルズC)、第15回日本ミッドアマチュアゴルフ選手権(11/17~19飯能ゴルフクラブ)で9位と健闘。
- 三木逸子選手(土佐CC)、第15回日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権(11/18~19池田カントリー倶楽部)で、8位と健闘。
- 第4回全日本小学生ゴルフ大会(11/21茨城ゴルフ倶楽部)女子の部で河本 結選手(窪田小⑥=愛媛)が見事2位、男子の部で杉原大河選手(論田小⑤=徳島)が4位、公受将輝選手(皆田小⑤=愛媛)が7位と健闘。
- 桑原八千代選手(新居浜CC)、第1回JGA杯J-sysゴルフ選手権(12/1相模カントリー倶楽部)で、6位と健闘。

第1回 四国アンダーハンディキャップゴルフ競技が 4部門で開催される 10月13日 滝の宮カントリークラブ

今年度から新しく開催される日本ゴルフ協会主催の第1回 J G A 杯 J-sys ゴルフ選手権競技(相模カントリー倶楽部・神奈川県・12/1)の予選会(全国各地で開催)を兼ねて、第1回四国アンダーハンディキャップゴルフ競技を10月13日滝の宮 C C (新居浜市)で開催、男子、女子それぞれ H C 12 までと H C 13 以上の4部門に分けて競われた。(男子6,149yd 女子5,339yd 共に Par72)

上位成績者は、次のとおり。なお、全国大会への出場資格は、4部門とも上位4名の選手に付与される。

【男子HC 12までの部】

POS	氏名	CLUB	NET	HC	TOT
1	長谷部万平	今治C	66	12	78
2	藤井和則	今治C	67	2	69
3	中岡昌美	レオマ高原G	67	7	74
4	横井信夫	滝の宮C	68	10	78
5	土遠龍児	西条G	69	11	80

【男子HC 13以上の部】

POS	氏名	CLUB	NET	HC	TOT
1	上鶴正弘	道後G	63	16	79
2	松尾繁樹	西条G	65	22	87
3	森宗妃呂幸	琴平C	68	16	84
4	藤山浩一	こんぴらLG	70	13	83
5	徳永利一	滝の宮C	74	20	94

【女子HC 12までの部】

POS	氏名	CLUB	NET	HC	TOT
1	三木逸子	土佐C	65	3	68
2	中谷明美	サンセットヒルズC	66	10	76
3	岡田朋子	パシフィックG	68	12	80
4	岩河百合子	高知G	72	11	83
5	濱口靖子	パシフィックG	72	9	81

【女子HC 13以上の部】

POS	氏名	CLUB	NET	HC	TOT
1	田辺澄	土佐C	67	30	97
2	桑原八千代	新居浜C	69	17	86
3	武田一恵	錦山C	71	15	86
4	高田郁江	西徳島G	72	14	86
5	西河弘美	新伊予G	76	27	103

シリーズ お四国随想 No.37 =もう一度八十八について=

四国遍路の八十八という数字にはいろんなことが言われている。これまでも少し触れたが、もう一度考えてみよう。八十八の煩惱だとも、あるいはまた人間の厄年が男42、女33、子供13の数字の合計だとも言われている。悩み多き現代の人たちにとっては、もっとも頷けるかもしれないが、私にはそうは思えない。あの時代の人たちが、それほど人間の煩惱に対する知識があったのだろうか。もちろん弘法大師をはじめ僧たちや上流階級の一部の人たちには、そんな知識もあっただろうが、普通の農民たちにはあまり関係が無かったのではないだろうか。八十八カ所の寺院には厄除けの寺もあるが、これは何か後々のこじつけのような気もしてくる。また、大きな数字を重ねることは沢山という意味にもなる。例えば、九十九島だとか九十九曲がりとか、七重八重とか、そうだとすると沢山の寺を廻るということにもなる。熊野の遍路信仰からきているという説もあり、熊野には、以前から九十九王子や三十三所観音参りというのがあり、熊野神社が多い宮崎県の高千穂峡では、高千穂八十八社というものがある。また、八十八とはいかにも語呂の良い数字である。米寿も、米という字を分解したという説はいかにも日本人の最も大切な主食の米を考えさせ、一番妥当なような気もする。昔の農民にも、この説が一番理解しやすく、また、受け入れやすいのではないだろうか。案内記には、「昔高祖大師稻荷明神と同意のご誓願を發したまひて米の霊場八十八を御開基ありし、と聞く。真に、米という字を書き分けるときは、八十八となるなり」と説かれている。大師も、途中で稻荷明神と会っているかもしれない。農民にとっては、一番身近な数字でもある。農業との関連では、八十八夜も思い起こせ、その頃は弘法大師の命日とも言われて、盛大なお祭りのある旧暦3月21日の八十八夜は農業にとって大事な日で、また、茶摘みや種蒔きの頃でもある。さらに、八の数字は末広がりで大変縁起の良い数字でもある。以上のようなことを考えてみると、米という字を分解して八十八にしたと理解するのが最も妥当なような気もする。しかし、このことは八十八カ所の霊場巡りにとっては根本的な問題点だから、もっともっと深く研究して、疑問を解き明かして欲しいものである。



(手島 皓一)

シリーズ 倶楽部コースのご紹介 その42

高知県の東部に位置する芸西村は、南は雄大な太平洋に面し、北を山々に囲まれ、年間を通して温暖な気候に恵まれています。そのためビニールハウスによる施設園芸が盛んで、天敵利用の安全で安心な美味しい野菜作りは全国的にも知られるところです。また、村の伝統文化である黒砂糖作りを体験できる「伝承館」、天文台を備えた「天文学習館」、海水を利用した「海水健康プール」など、この地ならではの施設も充実しております。当クラブは、平成元年に18ホールで仮オープン、平成5年に36ホールで本格的にオープン後、平成14年には日本ゴルフツアー機構が独自に設定した基準をクリアした、極めて戦略性の高いコースとして名誉あるツアーチャンピオンクラブに認定されました。以来、平成16年に日本プロゴルフ選手権、翌17年からは6年連続してカシオワールドオープンの舞台となり、シーズン閉幕を目前にしての賞金王争いやシード権争いなど数々のドラマが生まれています。

ゴルフ場として理想的といえる緩やかな起伏の丘陵地に広がる36ホール。太平洋コースは、特に景観が素晴らしく、1番ホールは太平洋に向かって豪快に打ち出していくロングから始まり、2番ホールは唯一の谷越えホール、5番ショートホールはグリーン前に広がる池、そしてその周りがバンカーになっている美しいホールです。ゆったりして思い切ったショットを楽しめる黒潮コースは、戦略性が高く、2番ホールから5番ホールまでの4ホールに巧みに池が絡んでおり、狙いをしっかりと決めた正確なショットがスコアメイクの鍵を握ります。何度プレーしても球趣の尽きないレイアウトは、百戦錬磨のゴルファーにさえ新たな挑戦意欲を掻き立てさせるようです。

一方、近年ではジュニア達の躍進振りも目覚ましく、平成12年にジュニア育成を目的に地元、近隣の小中高生を中心として始まった「黒潮ジュニアカップ」は回を重ねるごとにレベルアップし、全国各地のジュニアプレーヤーが、集い競い友情を育む知名度の高い競技会になりつつあります。

月々のサービスデーも充実、毎週木曜日はランチ付きのレディースシニアデーが定着し、月に二度のランチバイキングデーも格安でご好評頂いております。雄大なパノラマが広がる展望レストランでは、四季折々の地元の新鮮食材をふんだんに使った豊富なメニューでお楽しみください。

高知龍馬空港から約20分、高知自動車道南国ICから約40分と交通アクセスも良く、さらに来春開通予定の南国安芸道路・夜須～芸西間が完成すると芸西ICからわずか5分足らずでお越し頂けます。地元はもちろん、遠路はるばるお越し下さった皆様に心からご満足して頂きますよう、スタッフ一同感謝の気持ちを込めて真心でおもてなし致します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

支配人 清遠 玄士

Kochi 黒潮カントリークラブ



〒781-5703 高知県安芸郡芸西村西分甲5207番地
TEL 0887-33-4455 FAX 0887-33-4400

〈事務局からのお知らせ〉

◆SGU創立30周年 100余名がエリエールGC松山に集い 盛大に祝う

四国ゴルフ連盟は昨年10月25日(月)、創立30周年を記念してゴルフ大会、功労者(倶楽部)表彰、レセプションを開催、あいにくの雨天にもかかわらず加盟倶楽部関係者、役員など100余名が参加、盛況のうちに無事終了。なお、表彰式では、長年、四国ゴルフ界にご功績のあった方々のうち、次の方々が受章されました。

【倶楽部の部】徳島CC、Kochi黒潮CC、高松CC、エリエールGC松山、北条CC(以上5倶楽部)

【役員・委員】鈴木美二氏、手島皓一氏、阿河正昭氏、大塚澄男氏、加地徹成氏(故人)(以上5名)

◆第2回競技・ハンディキャップ委員会が開催される

11月29日(月)道後GC会議室で第2回競技・ハンディキャップ委員会を開催、「四国ミッドアマチュア選手権競技」及び「四国女子インタークラブゴルフ競技(仮称)」を平成23年度にSGU主催競技として立ち上げることを決定、今後、開催日・コース、競技規定等詳細を煮詰め、事業計画(案)として理事会に諮ることとなる。このほか、主催競技関係規定についても、一部変更を検討。

◆SGU役員・委員の任期満了(2年)に伴う改選

役員・委員の任期(22年度まで)満了に伴う改選が次期総会・理事会(1月、2月予定)で行われる。現在、理事長名で各県協会(連盟)へ候補者の推薦について依頼されており、年内には候補者がまとまる予定。